

令和5年度 函館市地域包括支援センター 活動計画について

函館市保健福祉部
地域包括ケア推進課

令和5年度 函館市地域包括支援センターの業務

包括的支援事業

- ア 地域包括支援センターの運営
 - (ア) 総合相談支援業務
 - (イ) 権利擁護業務
 - (ウ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務
 - (エ) 地域ケア会議推進事業
- イ 生活支援体制整備事業
 - (ア) 第2層生活支援コーディネーター業務
- ウ 認知症総合支援事業
 - (ア) 認知症初期集中支援推進事業
 - (イ) 認知症地域支援・ケア向上推進事業

活動評価および活動計画作成の目的

PDCAサイクルを繰り返すことにより、事業の改善を繰り返し、事業の質の向上を図る。



活動評価および活動計画の様式

令和4年度の活動目標を評価し、
その評価に基づき、令和5年度の活動計画(活動目標、計画、評価指標)を作成している。

事業内容	令和4年度活動評価		令和5年度活動計画		
	実績	活動目標に対する評価	活動目標	計画	評価指標
	評価に必要な実績を掲載している。	〔活動目標〕 〔評価〕 実績に対する評価・説明だけでなく、しっかり令和4年度の活動目標を評価する。	評価に基づき、令和5年度の目標を立てる。		

包括あさひの活動計画（抜粋）

事業内容	令和4年度活動評価		令和5年度活動計画		
	実績	活動目標に対する評価	活動目標	計画	評価指標
総合相談	<ul style="list-style-type: none"> ①広報紙の配布回数 ②市営/道営住宅の管理人からの相談件数 ③住宅公社からのケース紹介 ④広報啓発 ⑤相談者続柄内訳 	<p>〔活動目標〕 包括から市営/道営住宅に出向くことで、相談先が分かる人を増やすことが出来る。</p> <p>〔評価〕 ・広報紙配布時に直接手渡ししている管理人からの相談が4件あった。直接会えない管理人にも異変に気付くポイントや相談のタイミングが分かるようなリーフレットなどを配布し、引き続きアプローチする。</p> <p>・住民向け出張相談会は、開催できなかったが、高齢者が多く住む団地の管理人へ相談し、来年度に開催することになった。</p> <p>・市営/道営住宅の管理人から相談があったため目標は一部達成したと評価する。来年度は、市営/道営住宅の住民が包括へ相談しやすいように、出張相談会を開催する。</p>	<p>市営/道営住宅の住民が気になることを相談することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①市営/道営住宅へ広報紙を配布・掲示し、情報提供を行う。 ②広報紙配布時に、管理人や自治会長へ心配な住民がいなければ確認し、包括への相談を勧める。 ③市営/道営住宅で出張相談会を開催する。 	

活動計画作成の流れ

1 センターが活動計画の第1稿を作成し、市へ提出

2 地域包括ケア推進課担当内で第1稿を確認し、センターへのヒアリング事項等を整理

3 各センターへヒアリングを実施

4 必要時センターが加筆および修正し、完成版を市へ提出

令和5年度 函館市地域包括支援センター運営方針

地域で生活する人々が高齢者を見守るとともに、
誰かが異変に気付いたら相談できる地域づくりを行う。

高齢者と関わりがある関係機関への地域包括支援センターの周知の強化

地域の支援者や地域密着型サービス事業所との
早期対応のための連携強化

地域住民に対する認知症の正しい理解と
地域の見守りについての普及啓発

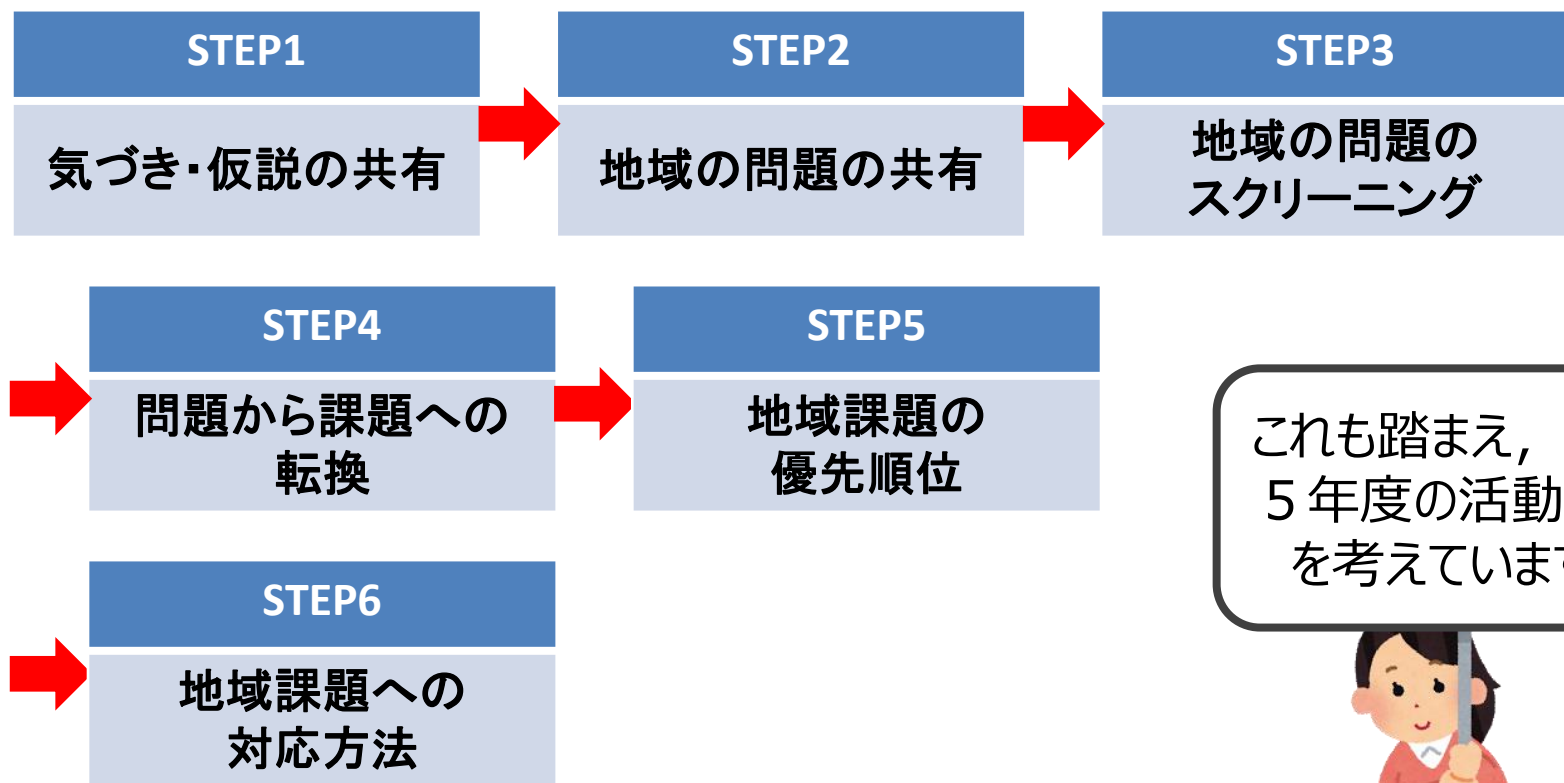
住民主体の助け合い活動に参加する高齢者を増やすための意識醸成

これを踏まえ、令和
5年度の活動計画
を考えています。

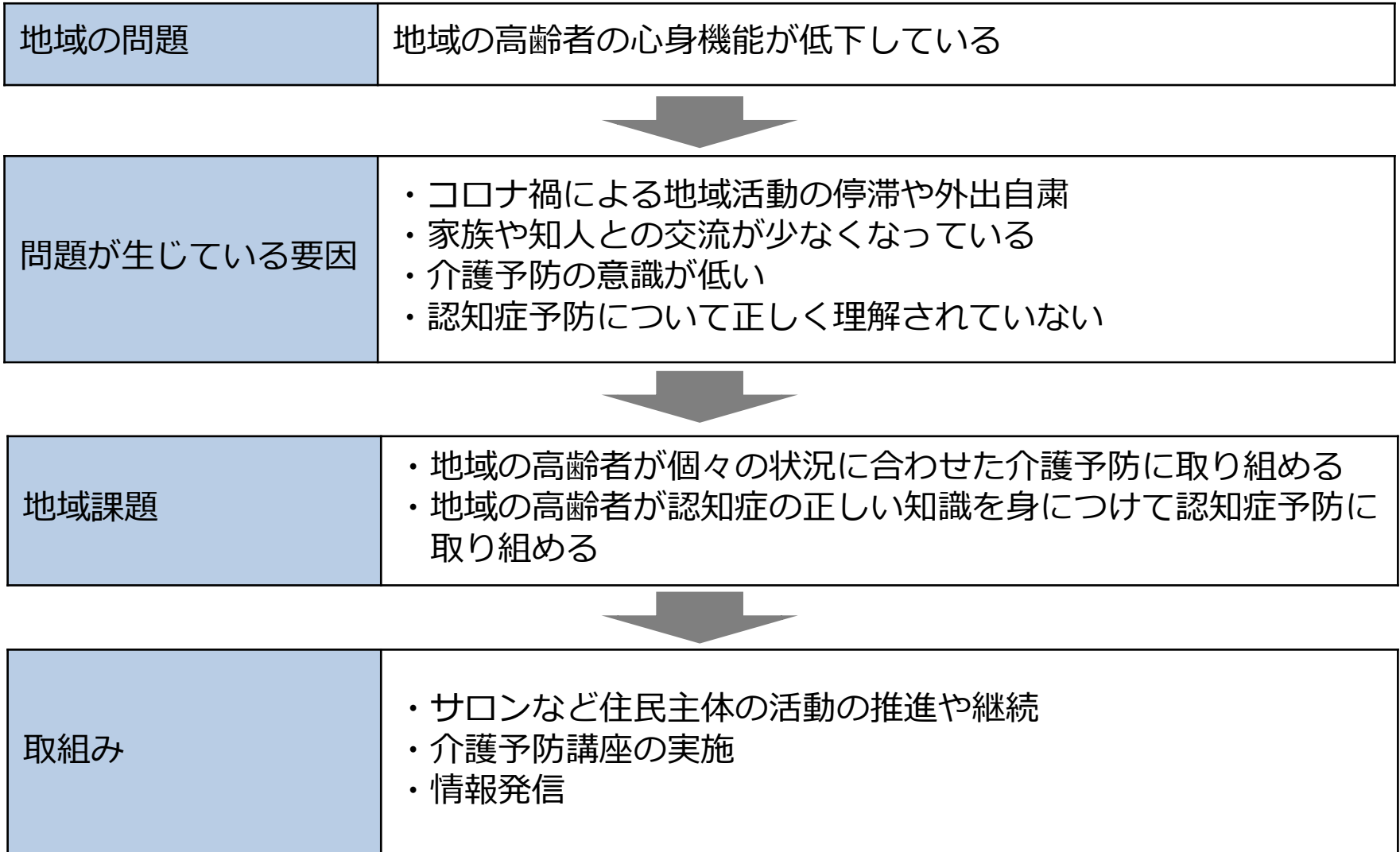


日常生活圏域レベルの地域課題の検討

- ・ 圏域の地域課題を明らかにするため、各センターで実施する。
- ・ 検討の流れ



中央部第2圏域：ときとう



北東部第3圏域：神山

地域の問題

地域の高齢者の生活に著しく支障がでてからの相談が多い。

問題が生じている要因

- ・ 独居や高齢者のみ世帯が多い、何かあった時に頼れる人がいない。家族が高齢者の変化に気づかない。
- ・ 高齢夫婦のDVや子どもの引きこもり等を家族が隠している。家庭内の問題が表面化しづらい。
- ・ 地域の支援者による見守り支援が減少。
- ・ ケアマネジャーが問題に気づいていても介入していない。
- ・ 本人、家族の知識不足。対応方法を知らない。本人の支援拒否。

地域課題

- ・ 家族や本人に何かあったら早期に誰かに相談することができる。
- ・ 地域の支援者が高齢者の問題にいち早く気づいてセンターへ相談できる。

取組み

- ・ 地域の支援者や関係機関、ケアマネジャーとの連携強化
- ・ 相談対応の仕組みづくり、住民相互の見守りについて意見交換
- ・ 民間企業への働きかけ
- ・ 相談先としてのセンターの役割について周知

今後の課題

- 運営方針や整理した地域課題に基づき、活動計画の中に入れて各種事業を行っていく。
- しっかり評価を行い、その評価結果を基に、現在ある地域包括ケアシステムを深化・推進させていく。

委員の皆様にご意見を伺いたいこと

- 各センターの活動計画についての意見・感想
- 令和5年度の取組に期待すること